

普段は大物釣り中心の釣りしかしない私ですが、年に2回だけはキスの数釣りをします。

1回はこのクラブ対抗キスでもう1回は兵庫協会のキス名人戦松永杯。

大物釣りとは全くカラーの違った釣りのように思われますが、釣りの基本は一緒と思っています。特に竿1本で五感を研ぎ澄ませて風、波、潮、そして海底の状態も感じながらキスのアタリをとっていく釣りは投げ釣りの基本、原点と考えても良いと思っています。大物志向の方は「ピングス釣りか」と馬鹿にしがちですが、限られた時間と場所で競うこの釣りは適度な緊張感もあり、全ての針にキスが掛かった時は大物を掛けた時とは又、違った喜びも有ります。

7月10日、今年も恒例の全日本クラブ対抗キス投げ釣り選手権が京都府の京丹後市で開催されました。神戸中央サーフからは3チームがエントリーしました。私は久しぶりのAチームでメンバーは最近、トーナメンターとしてメキメキ腕前を上げている重永さんに、クラブの競技キスベテランの中矢さん、そして大物師の私(笑)責任感を感じます。

午前4時半出発。いつもは浜詰海岸の東側に入りますが今年は少し西側の小さな川の河口に入りました。重永さん、私、中矢さん、生田会長と並びます。



午前5時 いっせいに開始です。

トラブルを避けて軽く投げます。4色程度に着水。ゆっくりサビくと早速当たってきます。隣の重永さんはいきなり6連掛け！お～すげえ。私も手応えを感じながら巻き上げますが豆アジがズラ～(涙)肝心のキスは2匹だけです。おまけに小さい(涙)

それでもキスは居るのでエサを付け替えてすぐに投げますが2投目以降、どう言う訳か全く当たりません。よもやの素針。重永さんも苦心しているようです。右側の中矢さんも全くアタリが無いとか。前夜の9時頃まで雷が光っていたと言う情報が気になります。

3投目、4投目も素針が続きます。メッチャ焦ります(汗)

重永さん、中矢さんは早々に見極めをつけて場所変えです。私も気持ち揺らぎますが恐らく不調の原因が前夜の雷なら何処に移動しても同じでしょう。気温も水温も上がっているのではやはり河口は捨てがたい魅力があります。陽が高くなり落ち着けば必ずキスの回遊はあるはず。そうこうしていると生田会長がこちらへ来られました。

新旧会長で並んで釣ります(笑)

陽が高くなってきたのでメガネを偏光に変えると100M付近まで藻が生えていてその先にきれいな砂地が広がっているのが見えます。思い切って遠投に切り替えました。7色まで投げてサビいていると6色から5色に入った所でブルッ！ブルッ！とはっきりしたキスのアタリがあります。追い食いを狙ってゆっくりサビくとこれが7連！続いて6連！その後もパラパラと釣れて来ます。やっぱりキスは居ました。移動した中矢さんに電話を入れてみるとあちらでもキスが良く釣れているとか。特に遠投主体で投げている石原さんは、かなりのキスを釣っているそうです。ご本人に電話を入れてみると「よ～釣れるでえ。50は越えてると思うわ」エッ！？エエ～ホンマかいな。未だ私は20ほど。俄然やる気が出てきました。

川の左側に居た方が移動したので、そちらへ少し移動しました。



これでかなりの範囲が遠慮なく探れます。思いっきり遠投！しかし、ここでアクシデントが発生。力が入りすぎたのかテーパーラインがよもやの糸切れ。あわてて巻き直すも崩れたリズムは戻らず、服に針を引っ掛けたり、波打ち際でキスを落としたり、拳句に素針を引いたり、大量のゴミを引っ掛けたり、ともかくこれで1時間ほどロスをしてしまいます。

リズムを取り戻す為に一息入れます。遅めの朝食をとりトイレも済まし気持ちを落ち着かせます。時間は午前8時過ぎ。改めて再開です。やはり間を取ったのが良かったのか、そしてここからは怒涛の入れ掛りです。

スンマセン 脇目もふらず釣っていたので写真がありません(笑)

8連掛けに始まり素針無しで5連6連と釣れて来ます。ただ、ポイントが7色投げて6色付近で食わせているので連続の遠投でフラフラです。疲れで右に左にコントロールミスはしますが、これが適度に投げ分ける事になったのか(笑)

この間、納竿の9時50分までに何とか90匹のキスを釣る事が出来ました。



検量に出すと昨年と奇しくも同じ重量で1130g。しかし、昨年は60匹ほどでこの重量でしたから今年は $1130g \div 90 = 12.5g$  いかにも今年のキスが小さいかですね。重永さんや中矢さんもそこそこ釣っていると言うので審査発表が楽しみでしたが、14位で20位以内の入賞ラインは確保できました。

神戸中央サーフ A	
重永 誠	1,040
中矢 光昭	792
帷 譲二	1,130
合計	2,962
順位	14位

  

徳島鱗友サーフ	
田中 聡*	982

今年はやや、参加者が少なく少し寂しい大会ではありましたが、来年もこの大会で上位を狙ってみたいものです。



この大会のP Jを頂いた大阪協会の皆様、そして大会をバックアップ頂いた京丹後市の皆様、本当に有難うございました。



京丹後市の中山市長さん



PJの大阪協会長 池田さん  
お疲れ様でした。